



◀◀  
 エンゲルス・ハツキョウシス氏  
 Evangelos Hatzikoitsis氏  
 「アジアの国々には日本を愛用しています。その注目を集めるべき日本車はRS11が大好きな車です。うれしい限りです」

日本には特別にホイールのオーダーカラーを展開

東京オートサロンでW213 Eクラスをお披露目したロリンザー。それに合わせてその総帥であるロリンザー氏とセーブルスマネージャーのハッチコイツァイス氏が来日。両名に2017年の展望を語ってもらった。

「2016年はメルセデス自体のモデルレンジが広がり、チューニングの幅が広がりました。2017年はとくにSクラスのマイナーチェンジ、新しいGクラスも登場すると予想されるので、素早く対応していきたいです。さらに用品だけでなくコンプライトカーも販売できる体制が日本では整っているの、これらについても力強く参入していきたいと考えています。今年はそれぞれの国に合った展開を考えているのですが、例えば日本ではオリジナルカラーのオーダーができるホイールを新作のRS11で考えています。通常は2種類のカラーで設定しているのですが、オプションでブラッシュドや他のカラーも受け付ける予定です。チューナー



輸入「マイナーチェンジされるW222 SクラスもW213のようになりタイプで乗り応えよくなるでしょう」と今後の展望を語ってくれた。

でも柔軟に対応できる斬新なプログラムです。鍛造ホイールなのでそのキヤラクターを活かそうかと考えています。かなりフレキシブルにそれぞれのマーケットに応じた展開を思い描いています」とサブライズを發表してくれたロリンザー氏は、エアロに関してはどうなんだろう？と続けてハッチ氏が言うには、

「今回、W213 Eクラスを發表しました。リアタイプとすることでメルセデスに備わるリーダーセーフティが問題なく機能できるようになっています。バンパーとは違うイメージを打ち出し、AMGスタイルリングパッケージ車とさらにスポーティに仕上げたいというところが、今回の弊社のアプローチになります。カーボンをリアタイプに採用したのも初めての試みでしたが好評でした」

最後に、ロリンザー氏は言う。

「最新プロジェクトとしては、エッセンで發表のGLSクラスも注目です。メルセデス伝統のグリルが特徴です。またRS10は今まで21インチのみでしたが、エッセンで發表した鍛造23インチのRS10も注目です」



▶▶  
 Marcus Lorinser氏  
 「高級クルマに対してチューニングをする市場が日本にはありません。むしろ対して、いっしょにローリングしています」



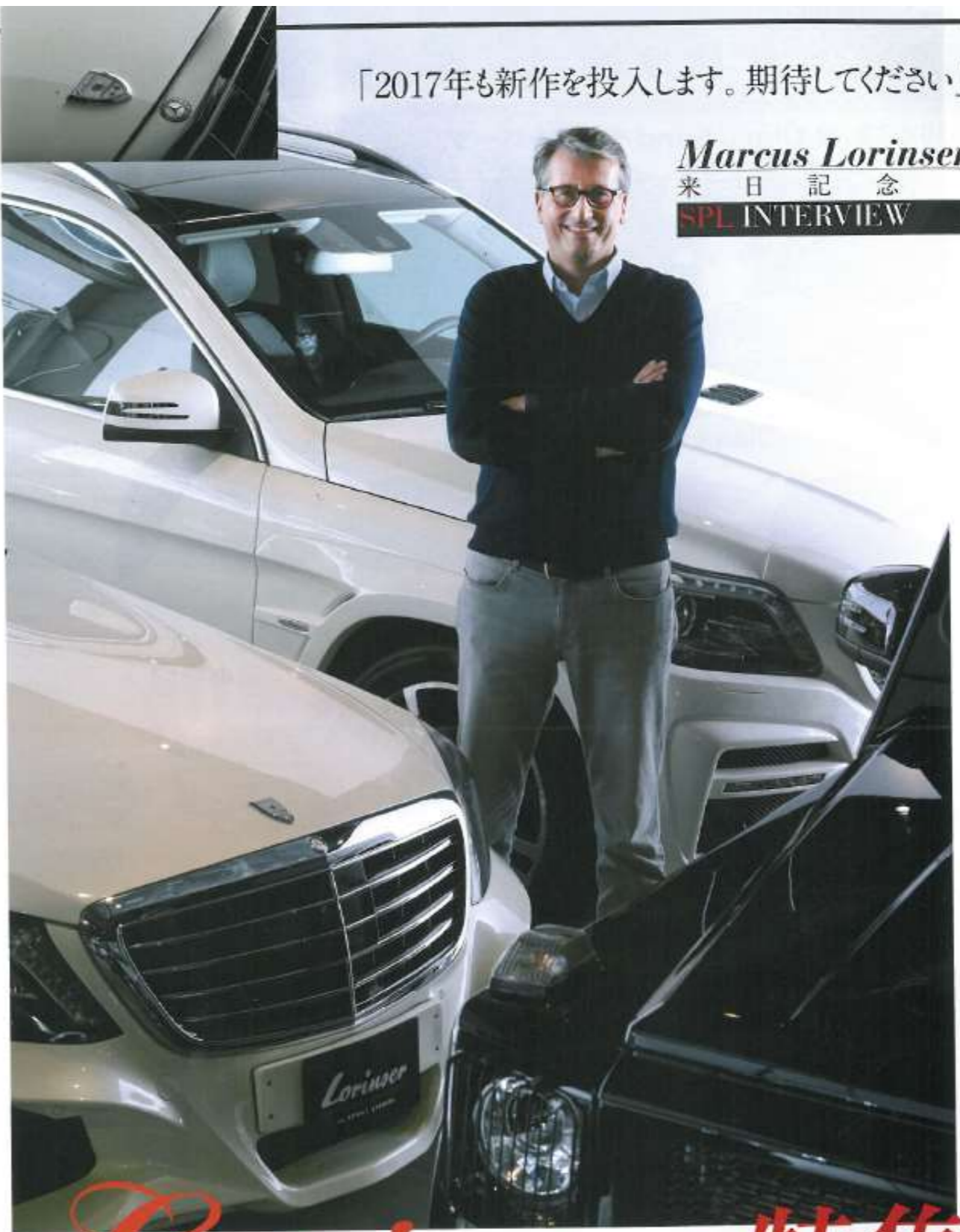
新作のRS11はモノブロックの鍛造。設定カラーはヒマラヤグレーポリッシュとブラックポリッシュ。それとは別に日本でのみオーダーカラーを受け付ける予定

GLSはユーザーからの要望をフィードバックした結果、大きなグリルが備わったデザインを採用。日本での発表デビューが楽しみ



「2017年も新作を投入します。期待してください」

Marcus Lorinser  
 来日記念  
 SPL INTERVIEW



# Lorinser 特集

今回、東京オートサロンに合わせて来日したロリンザー氏のインタビューに加え、新たに發表したW213 Eクラス、新作ホイールを早速レポート。2017年のロリンザーの動向をここでひも解く。

ロリンザージャパン 06-6832-3666 <http://www.lorinser.co.jp/>  
 PHOTO: 清水良太





**純正形状を生かしたカーボンリップスポイラー**  
3ピース構成となるフロントリップスポイラーはベースデザインを引き継ぎながらも、スポーティさを強調。シンプルではあるがカーボン素材を採用し、ボトムラインを生かしたロリンザーらしい仕上がりになっている。

**SPEC**  
フロントリップスポイラー-Carbon ¥329,400  
サイドスカートリップセット-Carbon ¥426,600  
リアディフューザー-Carbon ¥537,200  
リアデッキスポイラー-Carbon ¥210,600  
サイドミラートリムCarbon (LHD用) ¥199,800  
リアマフラー ¥415,800  
ロウリングモジュール ¥388,800  
スプリングキット ¥91,800  
ホイール:RS11 (F9×2) 37 F110.5×21 44) ¥453,600 (税) ¥489,800  
エントランスパネルイルミネーション ¥129,600  
フロアマット ¥59,400  
アルミペダルセット ¥43,200  
サイドデカールセット ¥32,400



サイドスカートはフロントドア下から後出ししたリップタイプを採用。リアホイール手前がカーブ形状にハネ上げるなど、小振りながらも存在感の高いデザインとなっている。



新作ホイール-RS11は21インチ鍛造モデル。レギュラーカラーはヒマラヤブルーとブラックポリッシュの2色限定だがオプションでカラーがカスタムできるプランも用意されている。



**上下が引き締まり、エレガントスポーティなリアビュー**

リアデッキスポイラーはボディデザインに合った絶妙なラインを形成。またフロントと前後にディフューザーは3ピース構成となるが、カーボン素材の合わせ面などは最もそのものを、リアマフラーはオーソドックスな出し

インテリアにもロリンザーテイストが、フロアマットは右ハンドル用として本廠で製作。アルミペダルセット、パネルイルミネーションなど、合わせてチョイスしたいアイテムが揃う。

シンプルながら構成ながらもしっかりと各部にこだわりが。最近のロリンザーといえば、SクラスやCクラスに代表されるような曲面や曲線を多用した、先進的なスタイルをイメージする人が多いはず。昨年のエッセンモーターショーで登場したW213 Eクラスは、そんな流れとどうも変わってミニマルなエアロパーツを装着したエレガントなスタイルに仕上がっている。

この理由は自動運転技術を進めるW213のセンサーにある。W213には実に13個ものセンサーが備えられており、純正機能を最優先した結果、ハーフタイプをセレクト。限られたスペースの中でいかにロリンザーらしさを表現するかを追求したということだ。

W213ボディキットのパーツ構成は、フロント、サイド、リアディフューザー、デッキスポイラーの4点。いずれのパーツもシンプルながらもチューナーならではのエッセンスが注ぎ込まれている。

フロントリップスポイラーはボトムラインをつなぐ形状で3ピース構成を採用。落ち着いた雰囲気ながらスポーティ度はムンムンだ。そしてフロントドア下から後出しするサイドスカートはリアホイール手前がカーブ状に跳ね上げられてフィニッシュ。その流れを汲んだリアディフューザーはサイドからエキゾースト上部へとラインを構成。こちらも3ピースとなっており、ジョイント部のカーボン地の合わせ面などを見ると、さすがロリンザーといえるほど緻密



そのものだ。またリアディッキスポイラーは中央部をくぼませ、トランクのラインに沿ったデザイン。横から見ると角度を立たせた設定となっており、小振りではあるがクッとレシーな佇まいとなっている。

撮影車両には装着されている新作ホイール、RS11は21インチ鍛造モデル。サンプルとして天面のみポリッシュアップ仕様の仕様が、なんとこのモデル、日本でブラッシュアップなどの表面処理を施すことも可能というからウレシイ限りだ。

制約の多い条件下で、シンプルながらもしっかりとロリンザーらしい仕上がりのW213。今後の新たな方向性がうかがえるモデルといえる。



ミニマルなエアロで魅せる  
新たなロリンザースタイル

Lorinser  
**W213 E-Class**





**SPEC**  
**SIZE**  
 9.0x20 44 ¥432,000  
 10.5x20 44 ¥448,200  
 9.0x21 44 ¥453,000  
 10.5x21 44 ¥469,900  
**COLOR:** Himalaya Grey Polish/Black Polish



一眼で見ると見るス  
 ポークがしっかり  
 と強度を確保。ユニ  
 ックなツイストスポ  
 ークは重やかながら  
 しっかりとした安定  
 感を感じさせる。

最新デザインをさらに楽しむ  
 カラーカスタムプランも用意  
 RS8やRS9など数々のヒット  
 作を打ち出してきたロリンザーが新  
 たに投入するホイールがモノプロ  
 ク1ピースのRS11だ。最新デザイ  
 ンを追求した印象で、幾何学的な形  
 状のツイストスポークが特長的。華  
 やかさを感じる親身のスポークに見  
 えるが、そこはチューナー、じっか  
 りとした強度を確保しており、足元  
 をしっかりと支えてくれる。

このRS11には、レギネラー2色  
 以外にオプションでカスタムプラン  
 が用意されている。レッドポリッシ  
 ャやアルポリッシュ、ブラッシュド  
 ゴールドなど、流行りのカラーリ  
 ングが施せるので様々なパリエー  
 ションが楽しめるのだ。

# NEW WHEELS RS11 Forged Monoblock

PHOTO:白岩 賢



センターオーナメント  
 はもちろん、リム部に  
 もしっかりと刻まれる  
 ブランドロゴ。メルセ  
 デスを知らずにはチ  
 ューナーの証が光る。

ツイストスポークで足元を華やかに

# Lorinser W463 G-Class



押し出しのグッと押し、スポーティに保  
 持したフロントフェイス。鋭いメッキマ  
 ンが特徴的なセンターのアンクルカ  
 ー。左右のグッドなど日曜パシアン



車庫にホイルと光る  
 のはRS11の高級ホイ  
 ル。方々の車庫に  
 ツイストスポーク  
 と相まって実感を  
 受ける。



## 質実剛健、迫力のロリンザー・ワイドボディ!



前後のフェンダー  
 などサイドのボディ  
 はロリンザーのワ  
 イドボディの幅が  
 大分アップした。ス  
 ティンレスパネルも  
 同色化。一部が高  
 級。より洗練され  
 印象を受ける。



**SPEC**  
 フロントスイイラー-PTS ¥518,400  
 (※Lorinser Fフリンダー)  
 ステンレスパネル ¥54,000  
 (※Lorinser Fスイイラー用)  
 フロントグリルMer Lorinserロゴ ¥172,000  
 リアスカート ¥383,000(※Lorinser Rフリンダー)  
 テールライトカバー ¥140,400  
 サイドスカートMer Lorinser ¥253,800  
 フロントフリンダー ¥234,500  
 (※Lorinser Fスイイラー)  
 リアフリンダー ¥313,200  
 (※Lorinser Rスカート)  
 ドアパネルMer Lorinser ¥610,200  
 リアルーフスイイラー ¥145,800  
 スペアタイヤカバー ¥194,400

クロームルックとは  
 ひと味違ったまじり感  
 Gクラス・ワイドボディはロリン  
 ザーの中でも高い人気を誇るモデル  
 だ。左右に大きなタクトを備え、セ  
 ンターのアンクルカーニッシュが特  
 徴的なフロントバンパーは、ツイス  
 トスポークの角の張った前後オ  
 ーカール・アンクルによって無骨さ  
 が増し、サイドのドアパネルが膝下の  
 重厚感を高める。ドッシリと安定し  
 た印象を与える。

つてスキのない仕上げが  
 このワイドボディ、カクログや広  
 瀬曲線ではフロントグリルやスベ  
 タイヤカバーなどをクロームルック  
 で仕上げているが、今回の取付中  
 はボディ同色化。これによりまた  
 と味違ったまじり感となり、新  
 なイメージとなっている。



シートカバーは  
 コンプリートカー  
 の設定でシート  
 パンチと弾力性が  
 備わっている。ア  
 ルミウムパネルは  
 洗練された印象  
 がある。